講義名	地域経済論				
科目区分	学科専門　展開				
担当教員	丸山　亜希子				
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 ２時限			授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科／ 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2018年度 人間社会学部 観光学科／				
履修開始年次	２年生	単位数	2	備考	

主題と概要

現在、日本では東京の一極集中が進み、他の地域はそれぞれ地域活性化に力を入れている。各地域を発展させるためにはどうしたらよいのだろうか。また、なぜ東京一極集中が進んでいるのだろうか。
本講義では、まず経済データを用いて日本の人口移動および産業集積について過去から現在にかけての状況を確認する。そして、産業集積が都市や地域を発展させる上で非常に重要な役割を担っている事を学んだ上で、集積を応用した都市・地域発展政策を考える。また一方で、地域間格差などの日本が直面している地域問題の現状と課題についても理解を深める。

到達目標

・産業集積が都市や地域を発展させる上で非常に重要な役割を担っている事を理解する。
・集積の経済の観点から、将来の地域経済に必要な政策は何か、地域活性化のための政策について考察を与えるための基礎知識を習得する。

提出課題

レポート課題を複数回課す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

必要に応じて、レポートに関する総評、解説を授業にて行う。

評価の基準

レポート課題　100点

履修にあたっての注意・助言他

4月23日（木）の第１回の授業について、4月21日（火）までにRyuka portal の「講義連絡」にて連絡します。履修者は必ず確認すること。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

授業中にレジュメを配布する。さらに知識を深めたい場合は参考文献を参照すること。
『地域経済学入門（新版）』山田浩之・徳岡一幸編、有斐閣コンパクト
『都市と地域の経済学』黒田達郎・田渕隆俊・中村良平、有斐閣ブックス
『都市・地域経済学への招待状（有斐閣ストゥディア）』佐藤 泰裕 、有斐閣

授業計画

第１回　イントロダクション　神戸を地域経済学的にみる
第２回　地域の概念（地域を経済学的に考える）
第３回　日本の地域構造（データでみる地域）
第４回　日本の人口移動（過去から現在にかけて）
第５回　東京一極集中とその問題点
第６回　ストロー効果
第７回　産業の立地
第８回　都市の形成（１）規模の経済
第９回　都市の形成（２）集積の経済
第１０回　地域経済学からみた地域活性化政策とは？（１）地方の現状
第１１回　地域経済学からみた地域活性化政策とは？（２）政策事例
第１２回　コンパクトシティ政策
第１３回　地域間格差
第１４回　産業クラスター政策
第１５回　神戸市の医療産業クラスター政策

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

配布資料を使って授業を行うため、予習はしなくても良いが、毎回復習として、授業内容の要点を自分の言葉でまとめておくこと（２時間/回）。
また、数学のグラフで理解しなければならない内容を扱う授業回がある。このとき、数学の知識を忘れている人は各自で数学の復習も行った上で、授業内容を理解する必要がある（２時間以上）。このほか、レポート課題の作成に復習が必要となる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考